

# 児童発達支援センターヒツジ

『受容的交流』に基づいた援助を実践し、お子さんの成長に寄り添います。



児童発達支援センターヒツジでは、きめ細かい配慮を行うため、少人数グループで活動しています。また、発達課題の5領域からお子さんに合わせた個別支援を作成し、学ぶ機会も提供しています。楽しめること・興味があることを模索しながら課題を設定し、「できた!!」を共に感じる課題を工夫して提供します。



## ①健康・生活

健康状態の観察、維持や改善・ライフスキルの習得、睡眠・食事・排泄リズムの形成、楽しい食事支援（バランスのとれた食事・アレルギー対応食の提供・咀嚼・嚥下・姿勢の保持等）が提供できるよう配慮します。



## 児童発達支援

児童発達支援は未就学のお子さまを対象にしたサービスです。

※発達課題の5領域は①～⑤になります。

## ②運動・感覚

運動機能・様々な身体感覚・身体の使い方や動き等、運動機能や感覚の成長をサポートします。心と体、気持ちのコントロールにも役立ちます。歩行やサーキット、手遊び等、状況を工夫しながら活動を設定しています。



## ⑤人間関係・社会性

生活の中でルールやマナーを知る、学ぶ。また、相手からの提案を受け入れられる（指示を受け入れる）ソーシャルスキルを体験するための支援を行います。お子さんが柔軟に対応できるよう体験を重ね対処できる力を育みます。



## ④言語・コミュニケーション

人との関わりを大切に、信頼関係を育みます。また、言語聴覚士による個別療育を実施し、ことばや要求表現等コミュニケーションの方法を指導します。言語聴覚士がアドバイスし、お子さんが集団生活で必要な自己表現を行えるように、ひとりひとりに合った方法で支援します。

## ③認知・行動

臨床心理士・公認心理師による個別療育を行い、理解力や学習力を伸ばしていけるようサポートします。集団活動の中では、自己調整力を養い、支え落ち着いて活動できるように「たのしかった・できた・やってよかった」とお子さんの自己肯定感を育みます。

